

太宰府市総合戦略推進委員会 最高顧問
東京大学名誉教授

もりた あきら
森田 朗さん



私が太宰府を訪れたのは、20年以上も前のことだ。天満宮の荘厳な雰囲気
に感動し、また訪れたいと思いつつも実現していない。その私がなぜ太宰府市
総合戦略推進委員会の委員を、しかも、最高顧問を務めているのか。

それは、楠田市長が、学生時代、私のゼミに所属していた縁による。楠田市
長は、学生時代から大物の風格を有し、俯瞰的にものごとを捉える視点とおお
らかな性格をもった政治家に相応しい人材であった。その後は、国会議員を経
て、太宰府市長に。まさに水を得た魚のごとく、才能を発揮することを期待して
いる。

その楠田市長の丁寧な依頼を受けて、研究者を卒業していた私だが、まちづ
くりのお手伝いをさせていただくことにした。通常、私は、まず現地を見、地域
を知ってから考えるのだが、今回はコロナ禍でそれがかなわず、歯がゆい思いを
している。コロナ禍が早く収束し、太宰府を訪れ、まちを見て、委員会の皆さま
とお目にかかれる日が早く来ることを祈念している。

特集

【表紙関連】3Rで食品ロス削減・
ごみの減量をしましょう …… 7～9

令和4年9月市議会楠田市長提案
理由説明 …… 10～11

オクトーバーランアンドウォーク2022に
参加しませんか …… 12～13

高齢者インフルエンザ予防接種について
…… 14

新型コロナウイルスワクチンの
接種について …… 15

すこやか運動教室開催のお知らせ
…… 16

市からのお知らせ …… 17～20

連載 …… 21～29

なんでも情報コーナー …… 30～41

太宰府の文化財 …… 42

市政ニュース

団体などとの連携強化

福岡県司法書士会と協定締結

福岡県司法書士会と本市は「太宰府市における空家等
対策に関する連携協定書」の締結式を8月22日(月)、行いま
した。

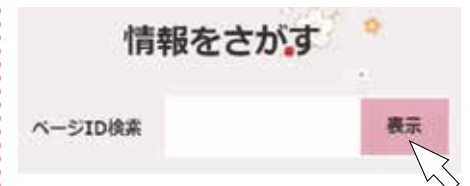
協定締結により、空家所有者などから相談や専門家の
紹介依頼があった場合に、相互に連携し、行政だけでは
持ち得ない同会の専門的な知識と技能、ネットワークを活
用しながら相談者のニーズに対応します。

筑紫地区としては初めての協定で、今後ますますの空家
対策の総合的推進を目指します。



協定締結式の様子

記事ページをホームページで検索!



広報だざいふの記事にある最大7けた
のページIDを太宰府市ホームページトッ
プの検索画面に入力すると、同じコンテ
ツの記事ページをさがすことができます。

姉妹・友好都市との交流

奈良市と友好都市提携20周年!

奈良市長と対談

提携20周年を記念し、楠田市長が7月26日(火)、27日(水)に奈良市を訪れ、仲川げん奈良市長と対談しました。

本年度すでに開催した友好都市パネル展や奈良市立大宮小-太宰府市立国分小のオンライン交流の感想を述べ合うとともに、両市のふるさと納税や観光施策、渋滞対策などに関して議論し、さらなる友好都市交流の深化について互いに提案を行いました。

両市長は昭和50年度生まれの同学年で旧知の間柄ということもあり、冗談を交えつつ、熱心に幅広く意見を交わしました。



対談の様子

奈良市視察

奈良市を代表する名所旧跡である東大寺や平城宮跡などを視察し、観光経済戦略と文化財の活用の観点から融合した施策推進について意見交換を重ねました。



東大寺を視察

扶餘郡と姉妹都市承継提携10周年!

扶餘郡守と対談

本市の姉妹都市韓国扶餘郡の朴政賢郡守と楠田市長が8月8日(月)、オンラインで対談しました。現在の両トップになって直接のやり取りは今回が初めてとなります。

承継提携10周年のこの節目に、朴郡守からぜひ直接訪問したいと希望があり、本市への招待を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を受けて急きょオンラインによる対談となりました。

朴郡守と楠田市長はお互いに承継提携10周年のお祝いの言葉とともに、承継前の扶餘邑から含めると40年以上にわたる交流の歴史を今後も未来へ繋げていきたいと述べました。また、本年10月に開催される百済文化祭への招待を受けるなど、対談は和やかな雰囲気で行われました。

※「邑」は日本の「町」のようなものです。百済文化祭については、P28

「国際交流・韓国」を確認してください。



姉妹・友好都市のキャラクターを紹介!



おとものタビット
太宰府市

「令和発祥の都」となったことをPRするために誕生しました。おとものタビットの他に旅人のたびと、れいわ姫がいます。



しかまるくん
©奈良市観光協会

性別：男の子
性格：のんびりや
好物：しかせんべい
好きな場所：奈良公園
誕生日：4月6日



「クムドンイ」
扶餘郡マスコット

国宝の「百済金銅大香炉 (Bae gje geum dong dae hyang lo)」に由来しているよ。



中学生の活躍

太宰府市立四中学校演奏会開催

令和4年度太宰府市立四中学校演奏会が8月3日(水)・4日(木)、プラム・カルコア太宰府で開催されました。

本年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、学校ごとに開催時間を分ける4部構成で行われました。1日目は太宰府西中・太宰府中、2日目は太宰府東中・学業院中の順に各校の吹奏楽部の生徒が演奏を披露しました。

生徒たちは日ごろの練習の成果を遺憾なく発揮し、4校ともに客席から感動の大きな拍手が送られました。



演奏会の様子

児童生徒の活躍

第19回太宰府市英語スピーチ大会開催

市制40周年記念第19回太宰府市英語スピーチ大会「うめのみ杯」が8月10日(水)に開催され、市内小・中学校から合計53人の児童生徒が参加しました。

午前小学生の部、午後中学生の部があり、出場者は素晴らしい発音と表現力で発表しました。自由の部では、スピーチでそれぞれの思いを表現しました。

審査の結果、次の皆さんが選ばれました。

	対象	賞	氏名	学校名
課題の部	小学生 (ペア)	優秀賞	木下蘭・松下莉緒	国分小
			高尾安司・中西彩寧	太宰府東小
			森洸志郎・堀尾美空	太宰府東小
			圓山拓海・興梠雅真	太宰府西小
	中学1年生	最優秀賞	平川珠鈴	太宰府東中
		優秀賞	鼻崎祥多	筑陽学園中
	中学2年生	最優秀賞	玉田倫渚	筑陽学園中
		優秀賞	横山綾音	学業院中
	中学3年生	最優秀賞	田中咲彩	学業院中
		優秀賞	中川佳乃	太宰府西中
自由の部	中学生	最優秀賞	鈴木開人	太宰府西中
		優秀賞	岡田怜恩	太宰府東中
			羽生香凛	学業院中



小学生の部



中学生の部

まちのトピックス

中学生の活躍

学業院中男子バレー部全国大会出場！

8月19日(金)～22日(月)に秋田県で開催された全国中学校体育大会第52回全日本中学校バレーボール選手権大会に九州地区代表として学業院中学校男子バレーボール部が出場しました。大会では予選リーグを突破し、決勝トーナメントまで進出しました。

結果報告に訪れた選手たちは、大会の感想や将来の夢について語ってくれました。楠田市長は、「今回感じた喜びや悔しさを活かし、これからのさらなる成長につなげてください」と選手の皆さんを称え、未来へのエールを送りました。



報告に訪れた選手の皆さんと先生

令和発祥の都 太宰府「梅」プロジェクト



官学連携で挑戦！令和の都太宰府の梅分析調査研究キックオフイベント

令和発祥の都太宰府「梅」プロジェクトの本年度の目玉として、太宰府市と福岡大学、福岡農業高校が連携して令和の都太宰府の梅の成分を分析調査する試みをスタートしました。

福岡大学薬学部の吉田教授からは分析の方法や抽出成分の目標設定、商学部の森田准教授からはシズンサイエンスという切り口から今回の連携の意義を説明いただきました。

福岡農業高校梅研究班の皆さんには分析に至る前準備として梅のエキスを濃縮する作業に従事してもらいました。今後も令和の都太宰府の梅の更なるブランディングに努めます。



キックオフイベントに集まった関係者

太宰府梅サイダー完成報告会・企業版ふるさと納税寄附金贈呈式

令和の都太宰府で実った梅を使用し、西日本鉄道株式会社と福岡農業高校が共同開発した太宰府梅サイダーの完成報告会が8月16日(火)、行われました。同日、売上金の一部を西日本鉄道株式会社から企業版ふるさと納税寄附金として寄附していただきました。

太宰府梅サイダーは、市内史跡地の梅を福岡農業高校の生徒の皆さんが収穫、加工したシロップをもとに、西日本鉄道株式会社が製造、販売している製品です。

発売から7年目の本年、製品ラベルに梅プロジェクトのロゴが入り、デザインを新たに約2万本が製造されました。本製品は参道をはじめ多くの店舗に陳列され、太宰府の夏の風物詩として、毎年大きな反響を呼んでいます。



完成した梅サイダー



完成した梅サイダーを持つ出席者

エルサルバドル留学生が梅プロジェクトを学ぶ

日本経済大学で農業経営を学んでいるエルサルバドルの留学生が8月25日(木)、楠田市長へ梅プロジェクトの狙いなどについてインタビューをしました。

インタビューで楠田市長は梅プロジェクトを発案した理由について、太宰府の強みの梅をブランディングしてグルメやスイーツに仕立て上げ、地場みやげ産業やふるさと納税への活用を進めることで経済税収効果を高めると説明し、ぜひ貴国でも生かしてほしいと伝えました。

熱心にメモを取りながら質問する留学生2人の姿からは、30年前まで内戦が続いていた母国の復興の役に立ちたいという熱い思いが伝わってきました。

Yolanda Marisol Canales Arguetaさんは「梅プロジェクトの話をもとに母国の農業マーケティングに役立てて農家の支援をしたい」と意気込みを述べました。



留学生がインタビューする様子